

設 置 計 画 の 概 要

大学等の名称			兵庫教育大学			計画の区分		事前伺い		
大学等の名称			兵庫教育大学			計画の区分		研究科の専攻設置		
新 設 学 部 等 の 状 況 ( 学 年 進 行 終 了 時 に お け る 状 況 )										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	異動元	専任教員	
					学位又は称号	学位又は学科の分野			助教以上	うち教授
連合学校教育学研究科	先端課題実践開発専攻	4		12	博士(学校教育学)	教育学・保育学関係	平成21年度	学校教育実践学専攻	12	11
								教科教育実践学専攻	3	3
								兵庫教育大学大学院学校教育研究科(M)	6	3
								上越教育大学大学院学校教育研究科(M)	4	1
既 設 学 部 等 の 状 況 ( 現 在 の 状 況 )										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	異動先	専任教員	
					学位又は称号	学位又は学科の分野			助教以上	うち教授
連合学校教育学研究科	学校教育実践学専攻	8		24	博士(学校教育学), 博士(学術)	教育学・保育学関係	平成8年度	先端課題実践開発専攻	12	11
								学校教育実践学専攻 退職	6	4
	教科教育実践学専攻	16		48	博士(学校教育学), 博士(学術)	教育学・保育学関係	平成8年度	先端課題実践開発専攻	3	3
								教科教育実践学専攻 退職	17	11

【備考欄】

平成21年4月から入学定員を次のとおり変更

現 行		⇒	設 置 後	
学校教育実践学専攻	8人		学校教育実践学専攻	6人
教科教育実践学専攻	16人		先端課題実践開発専攻	4人
合 計	24人		教科教育実践学専攻	14人
			合 計	24人

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(連合学校教育学研究科 先端課題実践開発専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	教育実践基礎研究Ⅰ	1	2			○									集中
	教育実践基礎研究Ⅱ	1	2			○									集中
	小計(2科目)	—	4	0	0	—									
専門科目	先端教育課題総合研究	1	2			○			18	7					
	現代教育課題特別研究	1		2		○			6	4					
	心の教育特別研究	1		2		○			3						
	教育発達課題特別研究Ⅰ	1		2		○			5	1					
	教育発達課題特別研究Ⅱ	1		2		○			3						
	学習臨床特別研究	1		2		○			3	2					
	小計(6科目)	—	2	10	0	—			18	7					
課題研究	課題研究Ⅰ	1	2				○		18	7					
	課題研究Ⅱ	1	2				○		18	7					
	課題研究Ⅲ	2	2				○		18	7					
	課題研究Ⅳ	2	2				○		18	7					
	課題研究Ⅴ	3	2				○		18	7					
	小計(5科目)	—	10	0	0	—			18	7					
合計(13科目)		—	16	6	0	—			18	7					
学位又は称号	博士(学校教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学									

設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性
<p><b>I 設置の趣旨・必要性</b>            本連合学校教育学研究所は、兵庫教育大学、上越教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が連合して後期3年だけの博士課程として平成8年に設置され、今日まで教員養成の改善・充実に資することにより学校教育の質的改善・改革に貢献すべく、学校教育実践学と教科教育実践学の構築と教員の養成教育を担う指導者の育成に取り組んできた。</p> <p>社会の急激かつ構造的な変化を受けた新たな課題や学校を取り巻く諸課題が複雑化・多様化する中、これらにどう対応するかが緊急の課題となっている。このため、高度な専門性を備えた力量ある教員の養成を目的に、平成20年度から新たに教職大学院制度が創設され、本学においても学校教育研究科に教育実践高度化専攻（教職大学院）を設置し鋭意、指導的教員等の養成を進めている。</p> <p>一方、これら多様かつ複雑な諸課題に対応するためには、教員養成の改革とともに、課題解決に資する総合的かつ実践的な研究の一層の推進と理論的な基盤に立って学校現場等に実践的な支援ができる研究者や指導者の養成が強く求められる。このため、連合学校教育学研究所科に新たに「先端課題実践開発専攻」を設置し、学校教育における多様な諸課題を解決するための理論と人材を供給するものである。</p> <p>先端課題実践開発専攻の位置づけは、既設の学校教育実践学専攻と教科教育実践学専攻と並列的なものではなく架橋的なものとし、本研究科がこれまで取り組んできた教育実践学構築の相乗的な発展に資するものとする。</p> <p>先端課題実践開発専攻では、今日の多様かつ新たな諸課題の分析等を行う「先端教育課題総合研究」を設定するとともに、「現代教育課題特別研究」など実践的な課題に対応できる科目を設定している。また研究指導体制でも教育実践実績を持った教員を加えるなどして、教育理論と実践の一層の融合を図り、総合的・学際的な教育研究を行う。</p> <p>これらを通じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既設専攻の研究成果と相俟って教育理論と実践の一層の融合を図り、学校教育における課題解決のための実践的研究の活性化に貢献する。</li> <li>○教科横断的な特色あるカリキュラム編成や社会に開かれた学校づくりについて中心的な役割を担える指導主事や教員を養成する。</li> <li>○高度な専門性と実践力を持った教員養成を目指す教職大学院の実務家教員を含め、高度な資質能力を持つ研究者・指導者を養成する。</li> </ul> <p><b>II 教育課程編成の考え方・特色</b>            教育科学、教科教育学及び教科専門科学の各専門分野の枠にとらわれない各専門領域を有機的に統合した授業科目（総合共通科目・専門科目・課題研究）を次のとおり開設する。</p> <p>①総合共通科目            学校教育学に関する幅広い学識と高度の専門性を修得させることを目的とし、本研究科を構成する4大学の教員が共同で開設し、夏期と春期にそれぞれ2泊3日合宿方式により実施する。            この総合共通科目は、教育実践学の構築に関わる教育研究の遂行にあたって、教育課題を的確に把握し、課題解決の方略を提示することのできる総合的な資質・能力の育成を主要な目的とする。            具体的には、多様な調査方法や統計に関する知見を広め、教育実践的課題の探求につながる内容学・方法学の考察を行うとともに、実践研究課題を学生同士が共有し、共同的な研究活動を総括し、社会的・国際的な情報発信につながる総合的な検討・交流の機会を提供する。</p> <p>②専門科目            基本科目として、専門科目に「先端教育課題総合研究」を設定する。            ここでは、現代社会に生じる主たる先端教育諸課題を取り上げ、それらの課題の構造的諸要因を分析し究明する。            「先端教育課題総合研究」を踏まえて、各専門科目においては、1) 児童生徒の「心の教育（道徳教育）」分野、2) 「発達課題」分野、3) 授業における学習課題（「学習臨床」）分野、4) メディア・コミュニケーションをはじめとする「現代的課題」分野の4本の柱を軸として学校教育にかかわる個別の先端課題に複眼的な視野でアプローチできるように構成し、具体的な解決のための実践プログラムを開発するとともに、その効果の検証方法を明らかにする。</p> <p>③課題研究            各専門科目で開発された実践プログラムを博士論文に発展させる科目であり、学生の研究課題に即して開設する。この課題研究は、主指導教員と副指導教員により第1年次から第3年次前期までの5学期間を通して開講する。</p>

卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法	授 業 期 間 等	
<p><b>【修了要件】</b>            標準修業年限の3年以上(優れた研究業績をあげた者にあつては修士課程を含めて3年以上)在学し、総合共通科目4単位、専門科目8単位以上及び課題研究10単位の合計22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び試験に合格することが必要となる。            なお、学位論文を提出するに当たっては、本研究科が実施する博士候補認定試験に合格していることが必要となっている。修了した者には兵庫教育大学から博士の学位が授与されるが、授与に当たっては、専攻分野の名称として、「学校教育学」と付記する。</p> <p><b>【履修方法】</b>  <b>〔総合共通科目〕</b>            総合共通科目の「教育実践基礎研究Ⅰ」（2単位）、「教育実践基礎研究Ⅱ」（2単位）をそれぞれ必修科目として計4単位修得する。</p> <p><b>〔専門科目〕</b>            専門科目計4科目8単位以上を修得する。            本専攻・連合講座が開設する専門科目のうちから、「先端教育課題総合研究」を含み2科目4単位以上を選択する。本専攻以外の専攻の連合講座が開設する授業科目のうちから1科目2単位以上を選択する。</p> <p><b>〔課題研究〕</b>            課題研究5科目計10単位を修得する。</p>	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業時間	90 分